

経営比較分析表（平成30年度決算）

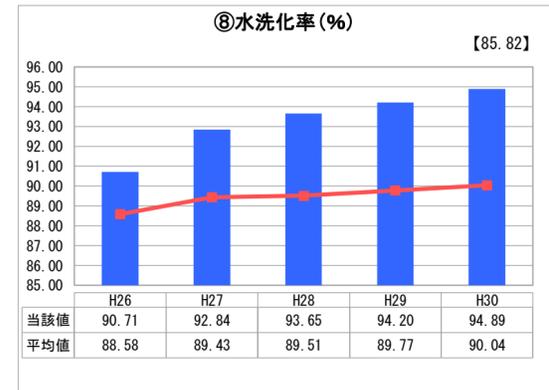
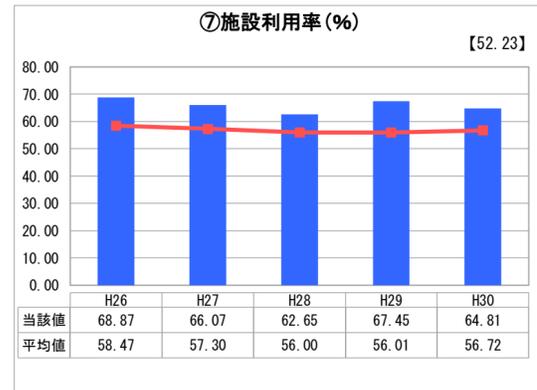
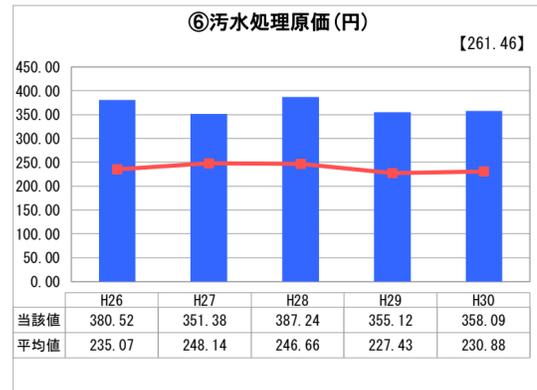
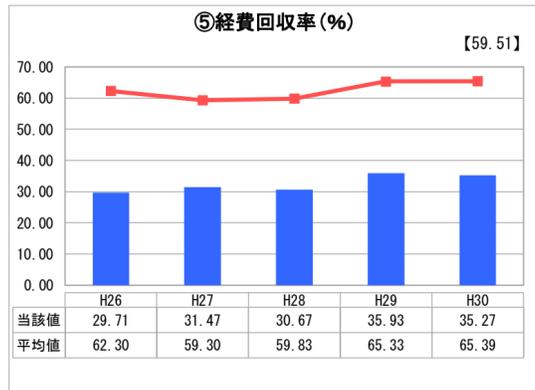
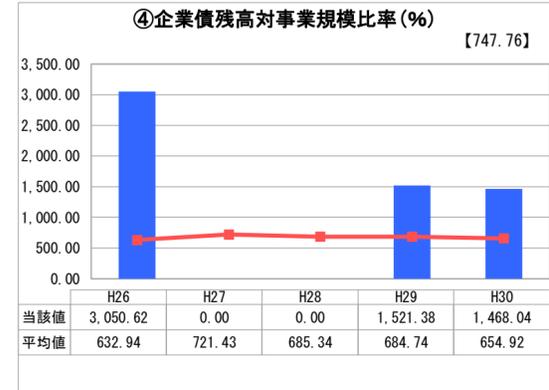
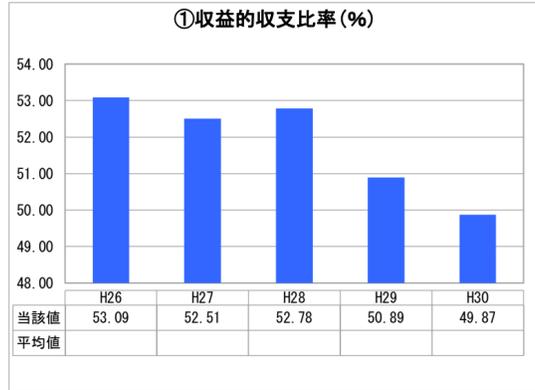
福井県 福井市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F1	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	4.87	90.00	2,570

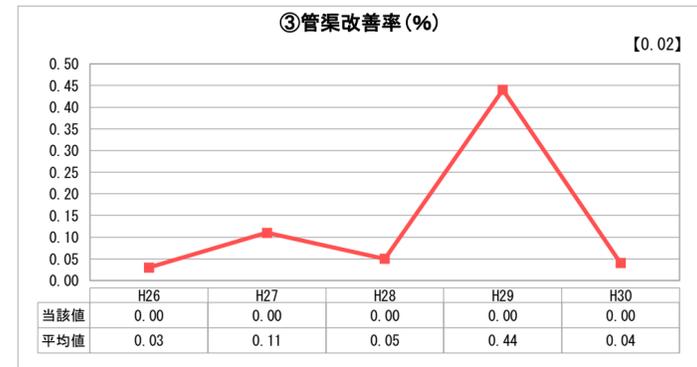
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
264,356	536.41	492.82
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
12,804	5.92	2,162.84

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率及び⑤経費回収率ともに100%を大きく下回っており、適正な料金収入の確保が必要な状況である。

④企業債残高対事業規模比率は、類似団体平均値を上回っている。これは、平成26年度にて完了した施設整備事業によりピークを迎えている事が主な原因と考えられる。今後は、施設の更新及び適切な維持管理が主な事業となることから、比率は同水準または低下していくことが予測される。

なお、近年における数値の変動性は、当該数値の算出方法の見直しによるものである。

⑤経費回収率が100%を下回っており、かつ⑥汚水処理原価が類似団体平均値と比較して高くなっていることから、効率的な汚水処理が実施されていない状況であるといえる。

⑦施設利用率は、類似団体平均値を上回っているが、人口減少等により今後は低下していくものと考えられる。

⑧水洗化率は、類似団体平均値を上回っている。近年の上昇傾向の要因は、平成26年度に整備が完了した地区の水洗化率の向上が理由である。

2. 老朽化の状況について

③管渠改善率について、現時点において管渠の耐用年数である50年を経過した管渠は存在していないため、管渠の更新は実施していない。しかし、今後は経年劣化に伴う管渠の老朽化対策や更新の需要が増すことから、要補修箇所把握に努める必要がある。

全体総括

各指標を総括すると、適正な使用料収入が確保できていないことにより効率的な汚水処理が実施されていない状況から収益的収支比率が100%を下回っており、本事業の経営状況は非常に厳しいものとなっている。

今後は、人口減少や節水機器の普及に伴う使用料収入の減少とともに、施設の老朽化に伴う維持管理費の増加が見込まれることから、より効率的な経営に取り組む必要がある。

今年度において策定した、施設の統廃合も含めた更新計画である「最適整備構想」を踏まえ、31年度においては朝谷島・境寺処理区における処理施設等の統合を検討していく。

なお、使用料について、平成31年1期使用分より約20%増の料金改定を行っており、次年度に反映される予定である。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。